

## 教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 情報公開

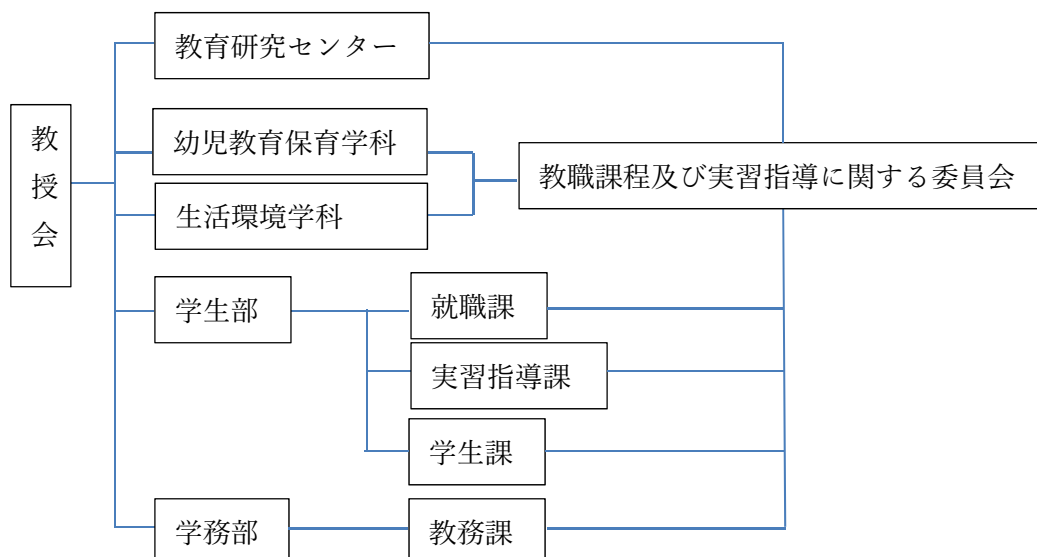
### (1) 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

本学の教育理念に則り、広い一般教養と専門知識・技能を授け、健全円満な人格の陶冶を図る。また、幼児教育・保育に関する知識と実践に役立つ技術を習得し、保護者から信頼され、人間性豊かで指導力のある人材の養成を目的としている。そのため、グループディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等のアクティブラーニングの教育方法も活用して実践力を高めていく。

#### ・到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1 年次	前期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本学の建学の精神と教育理念を理解し実践力を高め、幅広い教養の習得を図る。</li> <li>2. 幼児教育・保育に関する基礎的な知識と技術を身につける。</li> <li>3. 保育実習をとおして、現場での保育の実際について知る。</li> </ol>
	後期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の振り返りをとおして保育の実際と知識を結びつけ、幼児教育・保育の知識を深めたり技術を向上させたりする。</li> <li>2. 社会人基礎力を身につけ実践することにより、Ⅱ回生前期に実施する教育実習への準備をする。</li> <li>3. 幼児教育・保育の知識や技術、社会人基礎力を実践的に活用することで定着を図る。</li> </ol>
2 年次	前期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育実習に向けて、教育の基本的な理念や教育実習の意義を学ぶ。</li> <li>2. 教育実習の経験から、自己の課題を見つけ出し保育技術をさらに向上させる。</li> </ol>
	後期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全ての実習経験を振り返り、幼稚園教諭または保育士、保育教諭として、さらなる保育技術を習得する。</li> <li>2. 多様な社会で適切に行動できる人材をめざし自らの課題とともに保育内容や指導法の理解を深める。</li> </ol>

(2) 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員の有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること



・教員の数

職名	教授	准教授	専任講師	助教	計
人数	2	3	1	2	8

・各教員が担当する授業科目

教員名	担当科目
堀田浩之	保育原理・幼児教育基礎演習・保育カリキュラム論・保育者論・教育実習 教育実習指導・保育実習ⅠⅡⅢ・保育実習指導ⅠⅡⅢ・乳児保育ⅠⅡ
酒井律子	保育の心理学Ⅰ・保育内容の人間関係・特別支援教育/保育概論
上田智佳	幼児音楽基礎ⅠⅡ・ピアノ基礎・幼児教育基礎演習・保育内容表現 子どもと音楽表現
吉田景一	教育原理・健康とスポーツ科学・健康とスポーツ科学実践
千原智美	保育内容言葉・子どもと言葉・教育方法と技術・教育実習・教育実習指導 教職実践演習
藤原牧子	保育内容総論・保育内容健康・乳児保育ⅠⅡ・幼児教育基礎演習 保育実習ⅠⅡⅢ・保育実習指導ⅠⅡⅢ
近澤優子	IT技術ⅠⅡ
宮崎明子	幼児教育基礎演習・保育実習ⅠⅡⅢ・保育実習指導ⅠⅡⅢ

(3) 教員の養成に関する授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

(4) 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

(5) 卒業者の教員への就職の状況に関すること

卒業年度	令和4年度	令和3年度
卒業者数	27	19
幼稚園教諭二種免許状取得者数	27	17
幼稚園教諭	6	3
保育教諭	6	8
保育士	12	5

(6) 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組みに関すること

- ・園芸実習場を活用した環境の学び
- ・生活の基本を身につける宿泊実習
- ・模擬遠足やおたのしみ会など、学生主体の行事の企画、運営（アクティブラーニング）
- ・手づくり絵本の制作
- ・クラス担任制
- ・教育実習の個別サポート
- ・教職実践演習における履修カルテの活用
- ・FD 研修会
- ・授業評価アンケート